

平成28年度病虫害発生予察予報第10号（1月）

平成29年1月6日
高知県病虫害防除所

《予報の概要》

作物名	病虫害名	予想発生量※
促成キュウリ	べと病 うどんこ病 つる枯病 タバココナジラミ 黄化えそ病 ミナミキイロアザミウマ	<u>やや多(中央)</u> 、平年並(西)、やや少(中西) <u>やや多(中央)</u> 、少(中西、西) <u>多(中西、西)</u> 、やや少(中央) <u>やや多(中央)</u> 、平年並(西)、少(中西) 平年並(中央、西)、少(中西) <u>多(中央、西)</u> 、少(中西)
促成ナス	うどんこ病 黒枯病 ミナミキイロアザミウマ タバココナジラミ	平年並(東、西)、少(中央) <u>多(中央)</u> 、 <u>やや多(西)</u> 、平年並(東) やや少(東)、少(中央、西) 平年並(西)、やや少(東)、少(中央)
促成ピーマン ・シシトウ	うどんこ病 斑点病 黒枯病 ミナミキイロアザミウマ タバココナジラミ	平年並(中央、中西)、少(東) <u>多(中央、中西)</u> 、 <u>やや多(東)</u> <u>多(中西)</u> 、平年並(東)、少(中央) 平年並(東、中央)、少(中西) 平年並(県下全域)
促成トマト	葉かび病 すすかび病 うどんこ病 黄化葉巻病 タバココナジラミ	少(中央) <u>多(中央)</u> 平年並(中央) 少(中央) やや少(中央)

※（ ）内の表記 東：県東部、中央：県中央部、中西：県中西部、西：県西部

I 気象予報（高松地方気象台 1 月 5 日発表）

＜予想される向こう 1 か月の天候＞ 1 月 7 日から 2 月 6 日

平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

向こう 1 ヶ月の降水量は平年並または多い確率ともに 40％です。

週別の気温は 1 週目は平年並の確率 50％です。2 週目は平年並または低い確率ともに 40％です。

＜向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（％）＞

期間	対象地域	要素	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
1 ヶ月	四国地方	気温	20	40	30
		降水量	20	40	40
		日照時間	30	30	40

＜気温経過の各階級の確率（％）＞

期間	対象地域	低い	平年並	高い
1 週目	四国地方	20	50	30
2 週目		40	40	20
3～4 週目		30	40	30

＜予報の対象期間＞

1 ヶ月：1 月 7 日（土）～ 2 月 6 日（月）

1 週目：1 月 7 日（土）～ 1 月 13 日（金）

2 週目：1 月 14 日（土）～ 1 月 20 日（金）

3～4 週目：1 月 21 日（土）～ 2 月 3 日（金）

II 主な病害虫の発生予想

1 促成キュウリの病害虫

1) ベと病

予 想 発生量：やや多（中央部）、平年並（西部）、やや少（中西部）

根 拠

(1) 巡回調査では県中央部、西部で発生が見られたが、いずれの地域も発生面積は平年並～やや少なめであり発病程度が高い地域も見られなかった。

(2) 本病は 20℃ 前後、多湿条件下で発病が多くなる。1 月の降水量は平年並～やや多めと予想されているため、病勢が進展すると考えられる。

対 策

(1) 多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底するとともに、換気により、ハウス内湿度の低下に努める。

2) うどんこ病

予 想 発生量：やや多（中央部）、少（中西部、西部）

根 拠

(1) 巡回調査では県下全域で発生が見られた。県中央部では発生面積がやや多めであったが発病程度は平年並であった。中西部、西部は発生面積は少なく、発病程度

も低かった。

- (2) 気温の低下にともない病勢の進展が緩慢になるため、現在の状況が続くと考えられる。

対 策

- (1) 他の糸状菌病害とは異なり、やや乾燥条件での発病が多くなる。多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底する。ガッテン乳剤、プロパティフロアブルを使用した場合、菌叢の褐変、消失は見られないので防除効果は上位葉への進展など、未発生葉への進展状況で判断する。

3) つる枯病

予 想 発生量：多（中西部、西部）、やや少（中央部）

根 拠

- (1) 巡回調査では県中西部、西部で発生が見られた。いずれの地域も発生面積は多め、発病程度は西部で高かったが、中西部は低かった。
- (2) 本病は多湿条件下で発病が多くなる。1月の降水量は平年並～やや多めと予想されているため、既発ほ場を中心に病勢が進展すると考えられる。

対 策

- (1) 多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底するとともに、換気により、ハウス内湿度の低下に努める。

4) タバココナジラミ

予 想 発生量：やや多（中央部）、平年並（西部）、少（中西部）

根 拠

- (1) 巡回調査では県下全域で発生が見られた。発生面積は県中央部で多め、中西部、西部は平年以下であった。寄生密度は中央部、西部で高めであったが、ほ場で散見される程度であった。
- また、先月まで西部で発生が確認されていたキュウリ退緑黄化病（CCYV）の発生は、確認されなかった。
- (2) 気温の低下とともに増殖が緩慢となるため、現在の状況が続くと考えられる。

対 策

- (1) 本虫は生長点付近に成虫が産卵するので、薬剤防除を行う場合、上位葉を中心に発生初期の防除を徹底する。

5) 黄化えそ病

予 想 発生量：平年並（中央部、西部）、少（中西部）

根 拠

- (1) 巡回調査では県下全域で発生が見られた。いずれの地域も発生面積は平年以下であったが、中央部、西部では新たな発生が見られた。
- (2) 気温の低下にともない本病の媒介虫であるミナミキイロアザミウマの増殖が緩慢になるため、現在の状況が続くと考えられる。

対 策

- (1) 媒介虫であるミナミキイロアザミウマの防除を低密度時に徹底する。また、罹病株は早期に除去し、埋設するなどの処分を行う。

6) ミナミキイロアザミウマ

予 想 発生量：多（中央部、西部）、少（中西部）

根 抛

- (1)巡回調査では県下全域で見られた。県中央部、西部では平年に比べ発生面積が多く寄生密度も高かったが、被害は見られなかった。
- (2)気温の低下にともない増殖が緩慢になるため、現在の状況が続くと考えられる。

対 策

- (1)多発すると防除が困難になるため、低密度時の防除を徹底する。また、薬剤抵抗性が発達しているため、天敵の利用など、農薬以外の防除方法も取り入れる。

2 促成ナスの病害虫

1) うどんこ病

予 想 発生量：平年並（東部、西部）、少（中央部）

根 抛

- (1)巡回調査では県下全域で発生が見られた。いずれの地域も発生面積は平年以下であり、発病程度が高い地域も見られなかった。
- (2)気温の低下とともに病勢の進展が緩慢になるため、現在の状況が続くとかんがえられる。

対 策

- (1)他の糸状菌病害とは異なり、やや乾燥条件での発病が多くなる。多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底する。

2) 黒枯病

予 想 発生量：多（中央部）、やや多（西部）、平年並（東部）

根 抛

- (1)巡回調査では県下全域で発生が見られた。県東部では発生面積、発病程度とも平年並であったが、中央部、西部では平年に比べ発生面積が多かった。発病程度は県下全域で高く、西部では落葉が見られたほ場もあった。
- (2)気温の低下とともに病勢の進展は緩慢になるため、現在の状況が続くと考えられる。

対 策

- (1)多発すると防除が困難になるので発生初期の防除を徹底するとともに、換気により、ハウス内湿度の低下に努める。
- (2)発病葉は早めに除去し、ほ場外に持ち出し処分する。

3) ミナミキイロアザミウマ

予 想 発生量：やや少（東部）、少（中央部、西部）

根 抛

- (1)巡回調査では県下全域で発生が見られた。いずれの地域も発生面積は平年より少なく、寄生密度が高い地域も見られなかった。
- (2)気温の低下にともない増殖が緩慢になるため、現在の状況が続くと考えられる。

対 策

- (1)多発すると防除が困難になるため、低密度時の防除を徹底する。また、薬剤抵抗性が発達しているため、天敵の利用など、農薬以外の防除方法も取り入れる。

4) タバココナジラミ

予 想 発生量：平年並（西部）、やや少（東部）、少（中央部）

根 拠

- (1)巡回調査では県下全域で発生が見られた。いずれの地域も発生面積は平年以下であったが、県西部では平年に比べ寄生密度が高めであった。
- (2)気温の低下とともに増殖が緩慢となるため、現在の状況が続くと考えられる。

対 策

- (1)本虫は生長点付近に成虫が産卵するので、薬剤防除を行う場合、上位葉を中心に発生初期の防除を徹底する。

3 促成ピーマン、シシトウの病害虫

1) うどんこ病

予 想 発生量：平年並（中央部、中西部）、少（東部）

根 拠

- (1)巡回調査では県下全域で発生が見られたが、いずれの地域も発生面積、発病程度とも平年以下であった。
- (2)気温の低下とともに病勢の進展は緩慢になるため、現在の状況が続くと考えられる。

対 策

- (1)他の糸状菌病害とは異なり、やや乾燥条件での発病が多くなる。多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底する。

2) 斑点病

予 想 発生量：多（中央部、中西部）、やや多（東部）

根 拠

- (1)巡回調査では県下全域で発生が見られ、全般的に発生面積は多めであった。県中央部では発病程度も高かったが、東部、中西部はやや低めであった。
- (2)気温の低下とともに病勢の進展は緩慢になるため、現在の状況が続くと考えられる。

対 策

- (1)多発すると防除が困難になるので発生初期の防除を徹底するとともに、換気により、ハウス内湿度の低下に努める。
- (2)発病葉は早めに除去し、ほ場外に持ち出し処分する。

3) 黒枯病

予 想 発生量：多（中西部）、平年並（東部）、少（中央部）

根 拠

- (1)巡回調査では県下全域で発生が見られた。県中西部では発生面積が多く、発病程度も高かったが、東部、中央部は平年以下の発生であった。
- (2)気温の低下とともに病勢の進展は緩慢になるため、現在の状況が続くと考えられる。

対 策

- (1)多発すると防除が困難になるので発生初期の防除を徹底するとともに、換気により、ハウス内湿度の低下に努める。
- (2)発病葉は早めに除去し、ほ場外に持ち出し処分する。

4) ミナミキイロアザミウマ

予 想 発生量：平年並（東部、中央部）、少（中西部）

根 拠

- (1)巡回調査では県東部、中央部で発生が見られたが、発生面積はいずれの地域も平年並であった。中央部では寄生密度が高かったが被害は見られなかった。
- (2)気温の低下にともない増殖が緩慢になるため現在の状況が続くと考えられる。

対 策

- (1)多発すると防除が困難になるため、低密度時の防除を徹底する。また、薬剤抵抗性が発達しているため、天敵の利用など、農薬以外の防除方法も取り入れる。

5) タバココナジラミ

予 想 発生量：平年並（県下全域）

根 拠

- (1)巡回調査では県下全域で見られたが、発生面積は全般的に平年並であった。県中西部では寄生密度が高かったが被害は見られなかった。
- (2)気温の低下とともに増殖が緩慢となるため現在の状況が続くと考えられる。

対 策

- (1)本虫は生長点付近に成虫が産卵するので、薬剤防除を行う場合、上位葉を中心に発生初期の防除を徹底する。

4 促成トマトの病害虫

1) 葉かび病

予 想 発生量：少(中央部)

根 拠

- (1)巡回調査では発生が見られなかった。
- (2)現在、発生が見られていないことから、発生はほとんどないと考えられる。

対 策

- (1)多発すると防除が困難になるので発生初期の防除を徹底するとともに、換気により、ハウス内湿度の低下に努める。
- (2)発病葉は早めに除去し、ほ場外に持ち出し処分する。

2) すすかび病

予 想 発生量：多(中央部)

根 拠

- (1)巡回調査では平年に比べ多めの発生であった。発病程度も高めであったが、下葉中心であり被害は見られなかった。
- (2)気温の低下とともに病勢の進展は緩慢になるため、現在の状況が続くと考えられる。

対 策

- (1)多発すると防除が困難になるので発生初期の防除を徹底するとともに、換気により、ハウス内湿度の低下に努める。
- (2)発病葉は早めに除去し、ほ場外に持ち出し処分する。

3) うどんこ病

予 想 発生量：平年並(中央部)

根 拠

- (1)先月に比べ発生面積は減少、発病程度も低下した。
- (2)気温の低下とともに病勢の進展は緩慢になるため、現在の状況が続くと考えられる。

対 策

- (1)多発すると防除が困難になるので発生初期の防除を徹底するとともに、換気により、ハウス内湿度の低下に努める。
- (2)発病葉は早めに除去し、ほ場外に持ち出し処分する。

4) 黄化葉巻病

予 想 発生量：少(中央部)

根 拠

- (1)発生面積は少なく、発病程度も低かったが新たな発生が見られた。
- (2)気温の低下とともに、本病の媒介虫であるタバココナジラミの増殖が緩慢になるため、現在の状況が続くと考えられる。

対 策

- (1)媒介虫であるタバココナジラミの防除を徹底する。また、罹病株はほ場外に持ち出し、埋設するなどして処分する。

5) タバココナジラミ

予 想 発生量：やや少(中央部)

根 拠

- (1)巡回調査では一部のは場で発生が見られた程度であり、寄生密度も低かった。
- (2)気温の低下とともに増殖が緩慢となるため、現在の状況が続くと考えられる。

対 策

- (1)本虫は生長点付近に成虫が産卵するので、薬剤防除を行う場合、上位葉を中心に発生初期の防除を徹底する。また、本虫は黄化葉巻病を媒介するので注意する。

農作物の病虫害防除のための情報です。お気軽にご利用ください。

病虫害防除所ホームページ (こうち農業ネット)

- ①病虫害発生予察月報、病虫害発生予察予報
- ②病虫害発生予察注意報、病虫害発生予察警報、病虫害発生予察特殊報
- ③病虫害発生予察技術資料
- ④新しく問題となっている病虫害 etc.